

平成16年8月10日

関西電力（株）美浜発電所3号機の事故について

電力総連

昨日、関西電力株式会社美浜発電所3号機において、通常運転中に何らかの原因で復水系配管の一部が損傷し、当該破断部分より蒸気が噴出した結果、近傍で作業をしていた協力会社の従業員の4名の方が亡くなられ、数名の方が負傷されました。

電力総連は、原子力発電所に従事する全ての労働者が安全かつ安心して働けるよう、労働安全衛生活動に積極的に取り組むとともに、職場環境の整備に努めて参りましたが、このような死亡災害を伴う事故が発生したことは、痛恨の極みであり、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、負傷された方々の一日も早い回復を願う次第です。

今回の事故においては、原子炉の保護機能が正常に動作し、放射性物質の放出など、周辺環境への影響は無かったものの、電力総連は、本事故を原子力における社会的信頼に関わる極めて重大なものであると受け止めております。今後は、早急に徹底的な原因究明を行い、今回のような重大災害の再発防止に取り組むよう関係各所へ求めて参ります。

以上